

## 令和5年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和5年5月30日（火）18時30分～20時30分		
開催場所	市木まちづくりセンター	参加人数	13
出席議員	川上幾雄、岡本正友、西田清久	議長	-
テーマ別に 出た意見	<p><b>【総務文教】</b> 子どもたちと地域の関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○他町で就学する子供達 <ul style="list-style-type: none"> <li>・未就学児 6人（1人以外は邑南町へ）</li> <li>小中学生 2人（共に邑南町へ）</li> </ul> </li> <li>○子供の声が聞こえるのは盆正月（帰省同伴児童）</li> <li>○地域の活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去には、ほたる祭りはダンスで子供を呼んでいた</li> <li>・個人活動では、田植えや稲刈りなどの体験行事へ広島から児童を招いている</li> </ul> </li> </ul>		
	<p><b>【福祉環境】</b> 健康について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○健康診断の場所が地域で行われない（都川と今市） <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少が一因であるが、送り迎えを必要とする高齢者が増え、搬送方法又は地域で実施を検討している</li> </ul> </li> <li>○地域の活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・百歳体操、ゲートボールを2か所で</li> <li>・最近ウォーキングを行う人が増えている</li> </ul> </li> <li>○過去の活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧旭町時代には健康づくりの先進地で、健康づくりが旭町全体へ広まった（婦人会、食改の働きかけが大きい）</li> <li>・過去のこともあり個人の健康に対する意志が高い</li> </ul> </li> </ul>		
	<p><b>【産業建設】</b> 農業・林業・漁業の問題点と希望について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○法人化は未着</li> <li>○稲作 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己消費分の作付けで十分との思いがある</li> <li>・販売単価の上昇が必要で鍵</li> </ul> </li> <li>○人口養殖 <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣の北広島市大暮地区のレモンサーモン養殖を参考に</li> </ul> </li> </ul>		

自由意見	<p>【回答したもの】 ※回答概要も記載</p> <p>○ほたる祭り</p> <p>※現地での体験が大切、PRを全市的に行う必要があると回答</p> <p>○陸上養殖</p> <p>※産業建設委員会も注目しており FRD ジャパンを視察し、市としても瀬戸ヶ島地域の案件を含め検討中と回答</p> <p>○祭りの活発化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泥落とし、ほたる祭りを再度活発化させる必要がある</li> <li>・30 数年行っていた「ふれあい祭り」の成果を生かして新たに小規模でもよいので再開を</li> </ul> <p>※経験を活かし、まずは地域での検討が大切と回答</p> <p>○地域に溶け込めない UI ターン者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れ条件をしっかりと定めが受け入れる必要が</li> <li>・入居には地域活動への参加を加えるよう検討</li> </ul> <p>※行政側での取組も必要と回答</p>
	<p>【持ち帰るもの】</p> <p>○高齢化へ不安を覚える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落維持などにボランティア受け入れを検討（総務）</li> <li>・地域に根付く新たな人材募集を検討（総務）</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動などを広く市内へ広報方策を検討（総務）</li> <li>・空家バンク貸し付け条件の見直し（総務）</li> <li>・ほたるの里として地域が行ってきたこれまでの活動を広く広報することが今後生きる（産業）</li> <li>・地域の閉鎖的発言や行動が地域になじめない原因ではないかとの発言があり、地域の方々と共に気づきを得た（総務、福祉、産業）</li> </ul>